


事業番号	10 01 04	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	林業成長産業化推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
		実施期間	H30 ～	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> <b>本県林業の生産性を高め、林業の成長産業化を図る。</b> ・森林経営管理制度による森林整備を推進するため、市町村による広域連携体制の構築や伊那地域のモデル事業の成果等を県内市町村に波及を図る ・県内、国内、海外の森林・林業・木材産業を取り巻く状況を把握し、施策を考える際の土台となる森林や里山の未来の姿を明らかにする <b>【これまでの取組】</b> 航空レーザ測量、ドローンなどを活用したモデル地域による森林調査、フィンランド政府関係機関との覚書締結 など				
	<b>令和2年度点検結果</b> <b>現状分析</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           ・森林経営管理制度は、市町村が主体となる制度であり、特に林業関係の技術職員が少ない市町村では実施が難しいことから、引き続き支援を行う必要がある。             ・海外先進国と締結した覚書に基づき、県内関係者とも連携しながら、技術導入等に向けた連携を進める必要がある。         </td> <td>           ・市町村に対して、森林GISの活用支援やオンライン研修会の開催など、森林経営管理制度の円滑な導入に向けた研修会等を実施。             ・これまでの海外連携により得た知見に加え、県内外の森林・林業・木材産業を取り巻く状況を把握し、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の本県の森林・林業、木材産業のあり方の検討を実施。         </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・森林経営管理制度は、市町村が主体となる制度であり、特に林業関係の技術職員が少ない市町村では実施が難しいことから、引き続き支援を行う必要がある。  ・海外先進国と締結した覚書に基づき、県内関係者とも連携しながら、技術導入等に向けた連携を進める必要がある。
課 題	今後の方向性				
・森林経営管理制度は、市町村が主体となる制度であり、特に林業関係の技術職員が少ない市町村では実施が難しいことから、引き続き支援を行う必要がある。  ・海外先進国と締結した覚書に基づき、県内関係者とも連携しながら、技術導入等に向けた連携を進める必要がある。	・市町村に対して、森林GISの活用支援やオンライン研修会の開催など、森林経営管理制度の円滑な導入に向けた研修会等を実施。  ・これまでの海外連携により得た知見に加え、県内外の森林・林業・木材産業を取り巻く状況を把握し、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の本県の森林・林業、木材産業のあり方の検討を実施。				

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 森林経営管理制度の円滑な導入に向けた研修会等を実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村向け制度研修会や森林GIS等の操作研修会を開催</li> <li>・広域連携を実施する地域において、初期に必要な経費を支援</li> <li>・林業成長産業化と森林の適正な管理の実施に向けて先行して取り組む地域をモデル事業で支援</li> </ul> </li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ウィズコロナ・アフターコロナ時代の森林・林業、木材産業のあり方の検討           <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業事業者・関係団体・市町村との意見交換の実施</li> <li>・フィンランド北カルヤラ県調査団の受入れ、関係者マッチング</li> </ul> </li> </ul>	市町村向け研修会開催状況

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業コスト	区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値		前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	素材生産量(千m3)	540	564	↑	564	→	775	0	22,330	要求 45,509 予算案 —
2								76,419	60,036	
3								0	0	
4								76,419	82,366	要求 45,509 予算案 —
5								4,526	0	要求 予算案 —
								<b>決算額(B)</b>		
								44,352		
								4.00	3.00	3.00
	成果指標設定理由	1 林業成長産業化を評価するため、県内の素材生産量を目標として設定								

事業番号 10 01 04 事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検

事業名	林業成長産業化推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
-----	-------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	森林経営管理体制支援事業	61,893 千円	47,798 千円	要求 37,509 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	森林経営管理支援センターの運営	直接	森林経営管理体制の円滑な導入に向けた市町村支援を実施 ・森林経営管理支援センターの運営 ・森林経営管理体制や森林GIS操作研修会の開催（4回）	
2	森林経営管理体制広域連携体制支援事業	補助金	広域連携を実施する地域において、初期に必要な経費を支援する ・市町村連携による研修会開催経費 【補助想定件数10地域、補助総額2,000千円】	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	林業成長産業化地域創出モデル事業	10,000 千円	10,000 千円	要求 7,000 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	林業成長産業化地域創出モデル事業	補助金	モデル地域である伊那地域において、森林経営管理体制に先行的に取組み、森林調査や管理方針の検討を実施 【補助想定件数1件、補助額7,000千円】	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	森林（もり）の未来図作成事業	0 千円	0 千円	要求 1,000 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	森林の未来の姿のとりまとめ	直接	・コロナウイルス感染症による森林・林業・木材産業への影響の整理 ・林業事業者・関係団体・市町村との意見交換、地域の取組の検討	
2	フィンランド、オーストリアとの連携	負担金	・フィンランド北カルヤラ県調査団の受入れ、関係者マッチング ・オーストリアの森林研修所等との安全性に関するweb意見交換会	